

都市計画税の導入検討に係る市民懇談会 意見交換要旨（富波甲自治会）

日時	平成31年2月16日（土） 19:00～21:00
会場	富波甲自治会館
参加者	市民41人
出席職員	市長 （政策調整部） 竹中部長 （企画調整課） 小池課長、企画調整課員2名

発言要旨		分類
意見	人口が増えてきているから市街化区域を拡大しようとしているのか。一方で人口が減るという話もある中で、市街化区域を拡大する理由を教えて欲しい。	まちづくり
回答	実態として、若い世代や市内在勤の方が市内で宅地を求めようとしても土地がない状況であり、住宅用地となる市街化区域の拡大が求められている。また事業所からも設備拡張のため、数ヘクタール単位の事業用地を求められているが、対応できない状態である。 このようなニーズに応えるために、市街化区域を拡大しようとしているものである。	
意見	市街化区域を増やした場合の人口予測は、示されているのか。	
回答	国の予測では、2040年までに野洲市の人口は減少するとされているが、近隣の草津市、栗東市、守山市は増加する予測である。野洲市においても、同様のニーズはあるので、幹線道路を整備したうえで住宅用地や事業用地を増やすことで、近隣市と同様の状況になると見込んでいる。	
意見	都市計画税の導入に対して基本的には賛成であるが、市街化区域のみということに疑問がある。税の用途を考えると、受益を受ける全市民が負担すれば良いのではないか。	制度
回答	市街化区域と市街化調整区域では、土地利用の自由度が違う。市街化調整区域では、簡単に宅地開発ができずに家が建てられない。都市計画税は、そうした自由度の違いに着目している。地方税法で制度化されている都市計画税を採用してはどうかという提案である。	
意見	栄地区から東消防署にかけて、市街化区域が凹んでいる箇所がある。この地域は、将来的に市街化区域に編入するのか。	まちづくり
回答	市の都市計画においては、市街化編入の有力候補としているが、大規模な排水対策を実施しない限りは、採算性が合わず開発ができない状況である。	
意見	市街化調整区域に存在する既存の集落などは、下水道や道路も整備されており、市街化区域と変わらない。こうした集落地域を、まず市街化区域に編入しないと不公平なのではないか。	制度 まちづくり
回答	市街化編入には多くの条件があり、簡単にはできない。市内でも複数の地区において市街化編入の要望がある中で、集落地域まで全てを市街化編入することは不可能である。	

発言要旨		分類
意見	野洲駅周辺であるにも関わらず、久野部や市三宅が市街化調整区域であることは疑問に感じる。市街化区域の見直しを行ってから、都市計画税を導入すべきだと思う。同じ既存の集落なのに、都市計画税が課税されることに、不公平感を感じる。	制度 まちづくり
回答	当初、市街化区域の設定がされた際には、街道沿いの市街地と連なっている地域が市街化区域の対象となったと考えられる。当時は久野部や市三宅は連なっていなかったために、市街化区域には設定されなかったものと考えられる。	
意見	都市計画税が有効に使われるのであれば、賛成する。大事なものは、自分たちの住む地域にどれだけの利益があるかということ。決定した計画がないことも分かるが、そうしたものを示してもらわなければ、全面的に賛成することはできない。	使途
回答	住み良いまちにするために、何が必要なのかという課題を出し合って考えていく必要がある。しかし、財源もないのに約束はできない。都市計画税は目的税であるので、具体的に必要な都市基盤の整備として市民に還元されるものである。	
意見	都市計画税の導入が決定されるまでに、どのような手続きを行うことになるのか。	その他
回答	市民代表である議会での熟議・審議に委ねることになる。	
意見	近所の商店が全てなくなってしまった。今はまだ自動車に乗れるが、駅前にまで行かないと日用品や食料品を買うこともできない。まちづくりのビジョンが示されれば、そこに魅力を感じた出店者も増えるのではないか。	まちづくり
回答	一般的に、まちづくりのビジョンに商業的なメリットは示していない。商業のビジネスチャンスを見出せるような取り組みをしなければ、商店の消失を防ぐことはできない。	
意見	商店自体は民間事業者であるが、誘致などは市でできないか。もしくは、何か仕組みづくりのようなことはできないか。	
回答	例えば、平成24年度に市街化区域に編入した地域では、商業系の用途地域を設定しており、地権者は大規模小売事業者が出店する計画を立てられている。 幹線道路を整備すれば、その沿線に出店したいというニーズは高まる。事実、大津湖南幹線の整備を進めている西河原周辺の地価は、JR沿線でないにも関わらず上昇している。こうした基盤整備を行うことによって、まちが元気になると考えている。	
意見	20～30年前から、祇王地区には新駅整備の話があるが、それはどうなっているのか。	まちづくり
回答	新駅の構想についてはずっと休止していたが、合併協議の際に議論されている。新駅整備の課題として、乗降者を確保しなければならず、そのためには駅周辺の土地開発が必要となる。同時に大規模な排水対策も必要となる。このような状況から、構想はあるものの、今は難しいと考えている。	